世界大会受け初めての行動　安倍政権に核兵器禁止条約を迫ろう！

９月９日の行動に参加を

９日（月）正午～13時・元町商店街東口

☆9 月６日、原水爆禁止世界大会後はじめての６・９行動を行いました。神戸市被爆者の会の立川重則会長、民青同盟の伊木さち県委員長などが、マイクで、世界の政府代表・平和団体代表が集まった世界大会が成功したことを報告し、被爆 75 年・2020 年に向けて「ヒバクシャ国際署名」を軸に、核兵器禁止条約の発効を一日も早く実現させる取り組みへの協力を呼びかけました。

立川会長は、高齢化した被爆者の「最後の訴え」＝核兵器廃絶の願いに応えてほしいと呼びかけました。兵商連、平和委員会、AALA 連帯委、共産党などから参加した８人が、「ヒバクシャ国際署名」を訴えると、東京都で民主党結成時の『第一号党員』で、長妻議員の側近と名乗る方が、「核兵器禁止条約に反対する安倍政権を退陣させないと！」と語りながら署名に応じました。いつもよりも短時間の行動になりましたが 34 筆の署名と 500 円の募金が寄せられました。

☆安倍政権は、日本の侵略戦争への反省の立場を覆い隠したまま韓国との対立をあおり、来年度軍事費の概算要求で５兆３千億円を超える過去最大の大軍拡路線を暴走しています。来年４月、世界の平和勢力は米ニューヨークで原水爆禁止世界大会を行うことを提起しています。米ロなど核兵器大国が、新しい核兵器開発競争をすすめ、インド・パキスタンの対立、イランへの軍事攻撃の危険など情勢の悪化の中で、核兵器廃絶、戦争するな！の平和の声をあげることが極めて重要になっています。

芦屋市議会委員会で日本政府への意見書採択

９月20日（金） 核兵器禁止条約調印開始２周年

９月26日（木） 国連核兵器廃絶国際共同デー

◎いずれも正午～13 時／神戸大丸前で。兵庫労連の宣伝車で訴えます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

原水爆禁止兵庫県協議会